

---

—— 令和3年度 ——

# 事業報告書

一般財団法人置賜地域地場産業振興センター

---



---

# 令和3年度 事業報告

いまだ新型コロナウイルス感染症の終息が見通せないものの、国内外におけるワクチン接種の普及とともに消費活動が再開する等、経済活動が一定程度正常化に向かいつつある中で、地場産業振興センターとしての使命である地場産業の振興、観光振興を通じた交流人口の拡大を図ることを目指し、公益事業及び収益事業に取り組んだ。

公益事業では、グローバル化が進むものづくり産業に対し、次世代の人材育成やものづくりの向上を図るための機会の創出を目指し、企業の若手技術者や学生を対象に事業を展開した。

また、イノベーションLab.長井i-bayの運営を通し、起業・創業の支援を行うとともに、地域産業のイノベーションを促すため、新産業の創出や人材の発掘を目的に「ビジネスチャレンジコンテスト」を開催した。過去最多12組の出場者を擁したコンテストは、オンラインと現地参加で開催し、同時にYouTubeでライブ配信を行った。

観光交流センター「道の駅川のみなと長井」については、前年度は軒並み中止となった集客イベント・催事を県の指針に基づき再開し、「東京2020オリンピック・パラリンピック」聖火リレーの長井市最終地点になる等、引き続き施設の利便性の向上に努めた。また、長井市の玄関口として、(一社)やまがたアルカディア観光局と連携し、一元化した観光情報の発信、まちなかへの交流人口の誘導、地場製品の紹介など、観光交流センターとしての運営を円滑に行った。併せて、物産販売及び産直所などの収益を強化することにより、市内農業者及び事業者の所得向上に繋がった。

本町の中心市街地に移転オープンして2年目を迎えた「菜なポート」は、引き続き住民のライフラインとしての役割を担い、売り上げも前年を大きく上回ることであった。

収益事業である「ふるさと納税事業」では、長井市と連携した新たな返礼品の企画やふるさと納税ポータルサイトの改良など、地場製品の魅力ある返礼品づくりに取り組んだ。令和3年度は、さくらんぼ、ラフランス、りんご等の主力果樹が霜の被害で一定の収量が確保できなかったことから受注件数は前年度より下回ったものの、前年度に受注した分のお礼品発注額が増加しており、結果として事業収支は前年を大きく上回ることができた。

施設の老朽化が進み、一部機能が低下してきているタスについては、前年度に策定した「タス再整備基本構想」に基づき、国及び長井市の財政支援を受け、令和3年度は1階から3階までの施設をリノベーションした。

## 1. 人材育成事業

### (1) 置賜ものづくり地域創生支援事業(山形県・長井市補助事業)

- ① 社会人向けシーケンス制御講座
    - ・期 日 令和3年10月6日、10月13日 2回開催
    - ・参加者 2社4名(市内企業技術者)
    - ・内 容 長井工業高校教諭を講師として、同校教室で開催。
  - ② 長井工業高校コミュニケーションロボット製作
    - ・期 間 令和3年12月～令和4年3月
    - ・内 容 コミュニケーションロボット製作の材料費を支援
  - ③ 産業用ロボット・協働ロボットを活用した講習会、情報交換会
    - ・期 日 令和3年10月14日(木) 9:00～11:30
    - ・場 所 長井工業高等学校
    - ・講 師 (株)デンソーウェーブ FA・ロボット事業部 近藤氏
    - ・参加者 長井工業高校生徒 5名
  - ④ 少年少女ロボットセミナー
    - ・期 日 令和3年11月13日(土) 13:00～15:00
-

- 
- ・場 所 タス3階 アイリス・さくら
  - ・講 師 長井工業高校教諭2名、生徒6名
  - ・参加者 小学生20人 ※新型コロナウイルス感染症対策として参加人数を制限

⑤ 長井工業高等学校全校研究課題発表会

- ・日 時 令和4年1月21日(火)13:30～15:30
- ・場 所 長井市民文化会館ホール
- ・発表者 3年生6チーム(電子システム科、機械システム科、福祉生産システム科)

(2)マイクロマウス技術普及啓蒙事業

①「少年少女ロボットセミナー」の開催

- ・開催期日 令和3年11月13日(土) 13:00～15:00
- ・会 場 タス3階 アイリス・さくら
- ・内 容 低学年向け:工作教室(金属探知機 & 150倍顕微鏡 工作)  
高学年向け:ビュート レーサー(レースロボット組立、プログラミング)
- ・参加者 小学生20人(工作教室14、ビュート レーサー6)

※新型コロナウイルス感染症対策を万全にして開催

- 会 場 : 距離感を保った机配置、会場換気
- 参加者 : 手の消毒、検温、感染防止チェックリストの提出
- その他 : 同伴保護者数の参加制限

② 第34回マイクロマウス東北地区大会

③ 第20回ナガレンジャー・ファイティングフェスタ(ロボワン)の開催

→新型コロナウイルス感染症拡大状況、タスビル改修工事(会場使用できず)の影響により、開催を見送り。

## 2. 地域活性化事業

(1)TAS元旦祭

→タス改修工事及び新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、書初め大会のみ実施

(2)第34回書き初め大会

→開催方法 前年度と同様、年始に作品提出型による開催

- ・参加者 小学生(81名) 中学生(23名) 計104名(作品)
- ・審査会 令和4年1月 8日(土) さくら 暢神書道会による作品審査
- ・表彰式 令和4年1月16日(日) 道の駅「川のみなと長井」 特別賞受賞者11名を表彰

(3)ながい雪灯り回廊まつり

- ・期日 令和4年2月5日(土)
- ・内容 タス周辺でのランタン設置

(4)けん玉ペインティングコンテストの実施

- ・参加者 小学生(314名)、中学生(8名) 計322名(作品)

<全国コンテスト>

- ・一次審査 上記322作品を出品、うち41作品が審査を通過
- ・二次審査 うち4作品が入賞(全国入賞全20作品中)

<長井支部コンテスト>

- ・全国一次審査通過37作品(全国入賞の4作品除く)を対象に審査、各賞を決定
- ・表彰式 令和4年2月27日(日) 長井市民文化会館 上記37名を表彰
- ・作品展示 令和4年3月8日(火)～13日(日) 旧長井小(ギャラリー停車場)

### 3. 情報発信事業

#### (1) 地域情報化情報発信事業

- ① ブログ、SNSによる情報発信 週3回程度
- ② メールマガジン発行 月2回

#### (2) ながいファン倶楽部運営事業

・会員数 3,020人(令和4年3月末) ※前年度+266人

### 4. 需要開拓事業

#### (1) 特産物普及振興事業

##### ① ふるさとショッピング事業

ショッピング事業の利用者は高年齢層の顧客が多くインターネットの利用が難しい方も多いため、ネットによる販売と並行して通販チラシも発行している。

継続するにあたっては、コストを考慮し顧客の整理と見直しを図った。また新規顧客の獲得のみならず、顧客の維持・リピート及び休眠顧客の呼び起こしに力を入れた。

通販チラシの発行(720通×年3回)

初夏号(4月) さくらんぼ、スイカ、ぶどう、笹巻き、うす皮丸なす漬け等

初秋号(7月) 米、どだれ芋、あけび、芋煮、寺泉トマト等

秋冬号(10月) ラ・フランス、りんご、米沢牛、のし餅等

○ 売上金額 8,485千円

◎ 目標売上金額 8,452千円

##### ② ふるさと納税関係事業

###### a. お礼品発送状況 ※カッコ内は前年度実績

○売上 439,326,400円 (325,129,987円)

○送料 108,952,210円 (78,121,230円)

計 548,278,610円 (403,251,217円)

○発送件数 100,005件 (72,597件)

###### b. 寄付受付状況

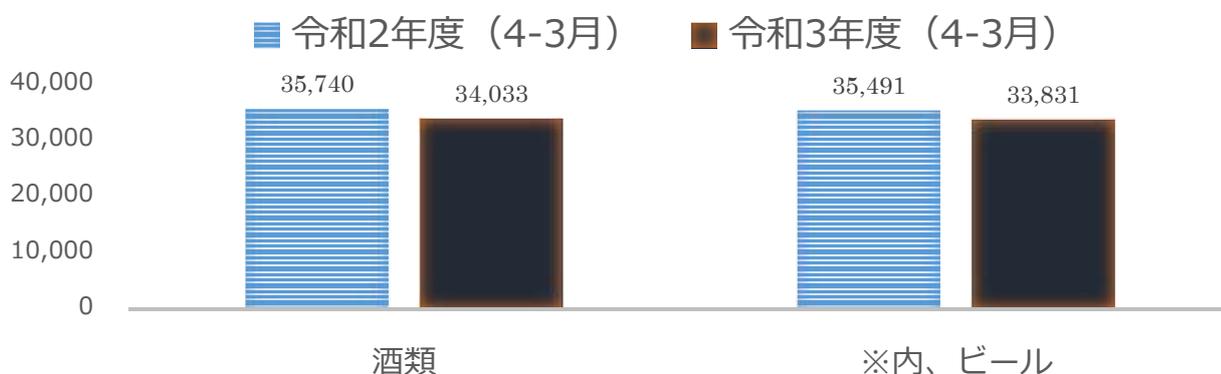
月	寄附額	申出件数	FAX郵送	マイ	楽天	さとふる	ふるなび	伊勢丹	Wowma
R3. 4	58,874,000	3,818	7	442	1,543	1,288	538		0
R3. 5	63,923,000	3,588	59	552	1,563	683	731		0
R3. 6	72,013,000	3,890	19	462	1,905	726	778		0
R3. 7	82,859,000	4,453	13	442	1,489	1,062	1,447		
R3. 8	52,066,000	2,543	18	420	764	694	647		
R3. 9	102,710,000	6,536	40	596	2,024	2,665	1,211		
R3. 10	144,592,000	10,295	67	861	1,643	6,057	1,667		
R3. 11	170,931,000	9,569	64	760	3,883	3,507	1,350	5	
R3. 12	538,145,000	27,610	26	1,468	8,299	7,822	9,189	806	
R4. 1	35,613,000	1,477	4	157	515	282	484	35	
R4. 2	29,843,000	1,210	2	149	444	337	240	38	
R4. 3	40,941,025	1,981	3	168	766	562	439	43	
R3年度計	1,392,510,025	76,970	322	6,477	24,838	25,685	18,721	927	0
R2年度計	1,567,321,992	85,859	382	9,338	19,332	29,208	26,640	0	959
R3 - R2	△ 174,811,967	△ 8,889	△ 60	△ 2,861	5,506	△ 3,523	△ 7,919	927	△ 959

88.85%

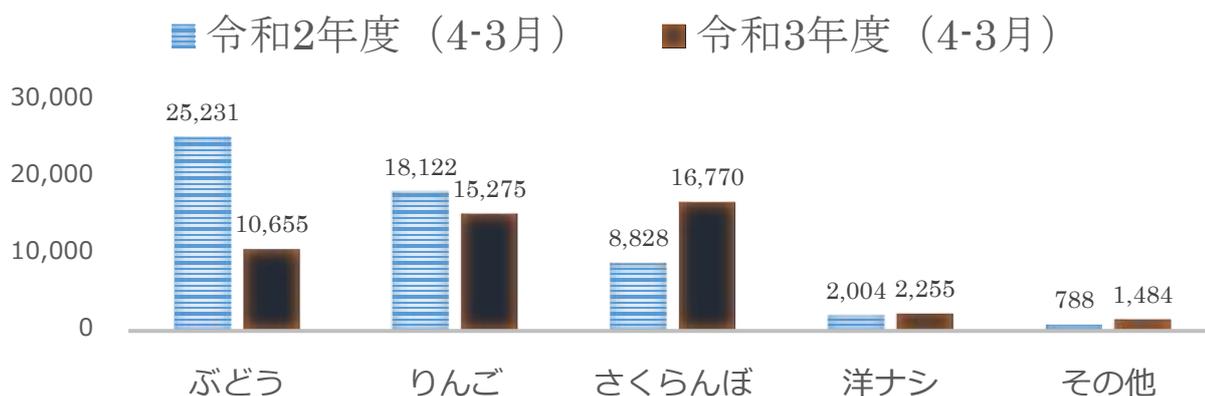
89.65%

\* 品物別受付件数(収納ベース)

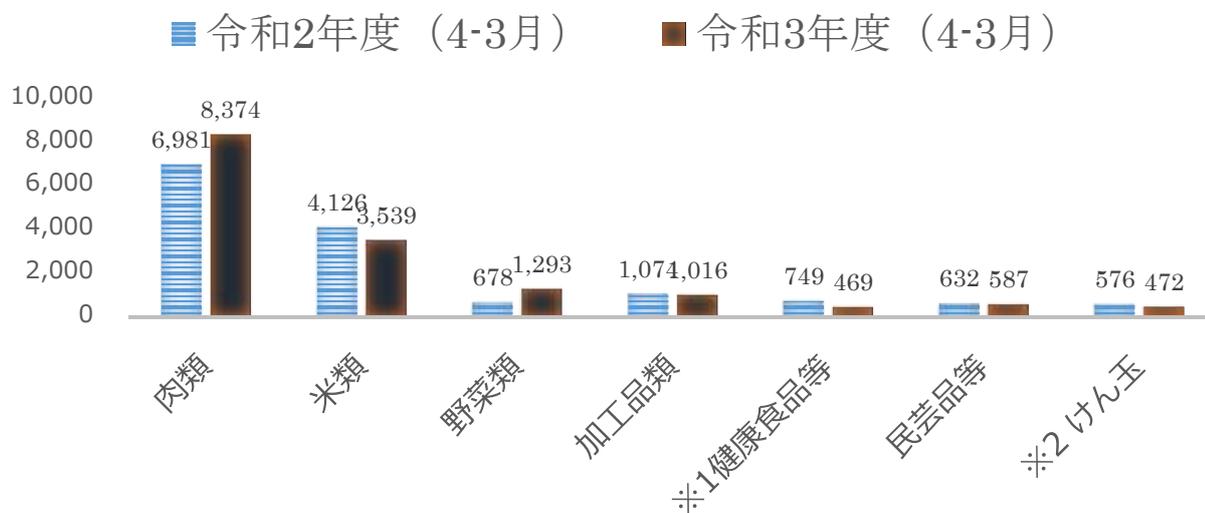
### 年度別酒類受付件数（収納ベース）



### 年度別果物受付件数（収納ベース）



### 年度別その他の品目受付件数（収納ベース）



※1 加工品類の内、きくいも関連品・協業サプリ等の合計数を抽出

※2 民芸品等の内、けん玉合計数を抽出

---

## (2) 首都圏販路確立及び首都圏交流事業

### ① 東京事務所運営事業

長井市と連携して大田区との交流拡大に取り組むとともに、「ふるさと長井会」運営への協力を通して首都圏の長井市出身者との交流を深めることでふるさとへの関心度を高め、物産販売収入とふるさと納税の申込件数の増加につなげた。併せて、HPのブログ、フェイスブックによる積極的な情報発信により東京事務所の存在意義を高めた。

また、事務所内およびドン・キホーテ大森店で長井市の物産を常設販売し、PRと認知度向上を図った。

### ② 大都市圏販路拡大事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京都における緊急事態措置・まん延防止等重点措置等が長期間にわたって発令され、大田区を中心に例年開催していた催事は、令和3年度も軒並み中止となった。唯一開催したイベントは、前年度同様にドン・キホーテ大森山王店の山形フェア(11月5日～11月7日)のみだが、前年度より小規模の開催にとどまった。

○実績           22,854円(ドンキホーテ山形フェアのみ)

◎目標           5,500,000円

#### (中止となった主な催事)

- ・4月           蒲田行進曲フェスタ
  - ・6月           ふるさと応援長井会物販
  - ・8月           梅屋敷商店街夏祭り
  - ・9月           長井北中学校修学旅行 梅屋敷商店街物販  
長井南中学校修学旅行 JR蒲田駅西口広場物販  
国際都市おおたフェスティバルin空の日
  - ・10月          おおた商い観光展
  - ・11月          池上ストリートブッフェ  
どんどん市in池上本門寺
  - ・12月          大田区総合防災訓練  
蒲田クリスマスコンサート
  - ・1月           池上招福市
  - ・3月           雪灯り回廊 in 池上本門寺
  - ・4月～         池上本門寺朝市(計7回)
-

## 5. 施設営業事業

### (1) 月別利用状況

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		上期計	
	R3	R2	R3	R2	R3	R2								
コンベンション	1	0	1	0	2	1	1	2	1	3	0	0	6	6
ハンケット	2	2	4	1	5	4	1	2	3	10	0	5	15	24
コンパ&ハンケ	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	1
プレルーム	10	1	3	1		3		4	8	9	2	8	23	26
アイリス	6	4	7	10	7	14	10	15	6	9	5	8	41	60
アゼリア	5	1	7	0	14	9	11	11	7	10	13	16	57	47
さくら	11	2	6	3	8	3	16	2	31	6	30	3	102	19
かすり	4	0	3	8	6	4	5	0	1	1	4	1	23	14
みずは	8	5	1	0	3	7	4	31	2	31	1	24	19	98
展示ホール	0	1	0	7	0	4	9	0	31	0	0	0	40	12
フュージョン	3	1	3	1	1	0	5	14	6	31	13	7	31	54
山里	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	1	3	1	8
総計	51	18	35	32	46	49	63	82	96	113	69	75	360	369

	10月		11月		12月		1月		2月		3月		3月迄計	
	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2
コンベンション	0	1	0	3	0	4	0	0	0	2	5	3	11	16
ハンケット	0	5	0	2	0	1	0	1	0	1	2	1	17	34
コンパ&ハンケ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2
プレルーム	0	10	0	14	0	8	0	7	0	5	5	8	28	70
アイリス	7	13	12	13	8	7	0	4	0	6	7	12	75	103
アゼリア	13	13	10	11	20	12	10	5	8	9	14	13	132	97
さくら	6	9	7	4	10	8	1	20	5	10	8	7	139	70
かすり	1	4	3	2	2	3	1	1	0	6	4	4	34	30
みずは	5	2	4	9	3	31	1	31	0	28	0	31	32	199
展示ホール	0	4	0	0	0	11	0	27	0	0	0	3	40	54
フュージョン	13	2	12	1	13	2	4	0	3	0	5	0	81	59
山里	1	3	0	3	1	2	3	1	1	0	1	0	8	17
総計	46	66	48	62	57	90	20	97	17	67	51	82	599	751

## 6. インキュベーション施設(イノベーションLab.長井 i-bay)

### (1) 入居状況

- ・プラチナ会員(個室スペース) 5名(社)
- ・ゴールド会員(個別デスク会員) 4名
- ・シルバー会員(共有デスク会員) 0名

### (2) 取り組み実績等

- ・関係者でi-bay運営会議を開催
- ・マネージャーによる入居者への経営指導
- ・セミナーの開催

【第1回 SNSお仕事活用講座(入門編)】

日時：令和3年8月28日(土) 10:00~11:30

会場：i-bay

参加者：14名

講師：i-bayインキュベーションマネージャー 岩瀬義和 氏

まいぷれ長井・西置賜編集長 高橋弘和 氏

内容：SNS別の特徴・ビジネスへの活用方法について実例を交えて紹介

【第2回 SNSお仕事活用講座(インスタグラム集客術)】

日 時：令和3年11月27日(土) 14:00～16:00

会 場：オンライン配信

参加者：6名

講 師：i-bayインキュベーションマネジャー 岩瀬義和 氏

レイシヤンタン梅村 梅村和子 氏

内 容：「インスタグラム」のビジネス活用法について事例を交えて紹介

【第3回 SNSお仕事活用講座(Googleビジネスプロフィール活用術)】

日 時：令和4年1月22日(土) 14:00～16:00

会 場：オンライン配信

参加者：13名

講 師：i-bayインキュベーションマネジャー 岩瀬義和 氏

レイシヤンタン梅村 梅村和子 氏

内 容：「Googleマイビジネス(マップ)」のビジネス活用法について事例を交えて紹介

(3) 今後の取り組み

- ・i-bayでのセミナー開催
- ・県内のコワーキングスペースとの会員相互利用の検討
- ・利用者の拡大

●ビジネスコンテストの開催

若者や移住者等の起業を促進、地域産業・資源を見直して新たな気づきを得る機会の創出、インキュベーション施設イノベーションLab.長井i-bayの利用者増加を目的としてビジネスコンテストを開催した。

また、開催に当たっては、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視しながら、開催形式を継続的に検討し、柔軟に準備を進めた。

ファイナルイベントは、改修工事によりタスのホールが使用できなかったため、長井市民文化会館ホールを会場として開催。過去最多12組の出場者は、コロナ禍の状況を踏まえ、現地参加(5組)とオンライン参加(7組)、それぞれの形式で参加いただき、事業プラン・アイデアのプレゼンを行った。

YouTube配信では多くの方に閲覧していただき、新たな開催形式として一定の成果を得た。

経過は以下のとおり。

募 集 期 間	令和3年 7月15日～10月28日
書 類 審 査 会	11月11日(木)
書類審査結果公表	12月16日(木)
ブラッシュアップ合宿	12月11日(土)、1月15日(土)
ファイナルイベント	2月26日(土)

《エントリー実績》

長井BCC全体として、35組がエントリー。

《ファイナルイベント》

日 時：令和4年2月26日(土) 12:30～17:00

会 場：長井市民文化会館ホール

NO	部門	チーム名	事業プラン名	審査結果
1	アイデア	米沢商業高等学校 チーム:おこめ 代 表:遠藤 美桜	置賜名産バスボール	

2		長井工業高等学校 チーム:機械科工作部 代 表:佐藤 匠真	コミュニケーションロボット を活用した駅・市役所と周 辺地域の情報提供	NTT東日本山形支店賞
3		鏡 龍貴	規格外農産物を活用した、 「豊かな規格外社会ネット ワーク」の創造	YTS賞
4		長井高等学校 チーム:spinach 代 表:中村 友南	いつでも、どこでも、レイン ボー野菜が買えるアプリ	・アイデア部門賞<次世 代枠> ・オーディエンス賞
5	アイデア部門 へ一般枠	相模女子大学 チーム:鈴木チーム 代 表:鈴木 敦子	長井のフルーツ×天然水 開発プロジェクト	
6		まちけんcheerred up by 藝工大應援團 with 天音印 代 表:間地 謙太	置賜地域の食テーマパーク 化による山形PR	
7		長井工業高校・角川ドワンゴ 学園N高校 チーム:長井LIC 代 表:小野 夏務	長井市の地域文化(芸能・ 文化・芸術活動)のチャン ネル構築による魅力発信	・アイデア部門賞<一般 枠>
8		東北芸術工科大学 山田 望未	試食サブスクリプション	
9	ビジネスプラン 部門	Retreat Plus 牛澤 晴也	長井ダム 飲食強化による観光地発 展へ！！	
10		垂石 垂石 佳子	しゃいっこ心で辛い所に手 が届くようなお手伝いの遺 品・生前整理事業・結遺	・ビジネスプラン部門賞
11		斎藤製麩所 代 表:斎藤 佑介	高タンパクで低カロリー！ 麩の惣菜販売による販路 拡大	最優秀賞
12		ナジミニ 代 表:小杉 慶子	小学校英語授業用教材 「ナジミニ」	

## 7. 長井市観光交流センター(道の駅「川のみなと長井」)運営

道の駅「川のみなと長井」は、開設5年目を迎えた。地域の賑わいの創出と産業の振興、観光交流の玄関口としての役割を果たすため、コロナ禍において様々な制約の中で事業に取り組んできたが、観光客の外出自粛ムードは続き、道の駅運営には大きな痛手となった。

前年度は、春の観光シーズン期に於いて16日間(4月25日～5月10日)の全館休業、及びその後の時短営業を余儀なくされた。また一方で、令和3年度は、長井市のオリパラの聖火ランナーの最終地点となり多くの市民・お客様に感動を伝える場となった。

GW-夏場のイベントは県の指針に基づき開催、一部規模を縮小し、コロナ渦で制約も多かったが実施し好評を得た。特に、県外客の激減により、特にお盆期間の土産品の売上は前年並みとなり、その後も回復基調は鈍化している。反面、生産者の状況は、遅霜等の影響で西瓜・さくらんぼ・りんご等の果物類に大きな被害があり出品量の減につながった。

県企画の『春旅』『冬旅』が開始され、多くの方が期待したが、1月27日～2月20日までの『まんえん防止法』が発出され、その後『県独自の特別警戒期間』も出され外出等への自粛ムードが高まった。更に、1・2月の『豪雪』も客数減の要因にもつながった。